

## Report of Woody Valley February 2012

By Tsune Sports Opa Kite

Photo by Takeshi

ドイツの ICARO PARAGLIDERS との契約、また多くのメーカーが出品するイベント THERMIK を見学、そして昨年に続き Woody Valley 社を訪問してきました。

### 2012.2.17 THERMIK IN STUTT GART



ウッデヴァレイはドイツディーラーのターンポイントが担当、センス抜群のブースでした

THERMIK 全体については別レポートもあります。



## 2012.2.18 ICARO PARAGLIDERS 訪問

Woody Valley 社からの紹介のヨーロッパの主要ブランドの ICARO との契約、販売も開始しました。



## 2012.2.20-21 ICARO チームとフライト at Bassano



ICARO チームのハーネスはウディヴァレイの X-Alps



圧倒的に増えた軽量リバーシブルの VOYAGER PLUS

デザイナーのミハエルもお気に入りの X-Alps

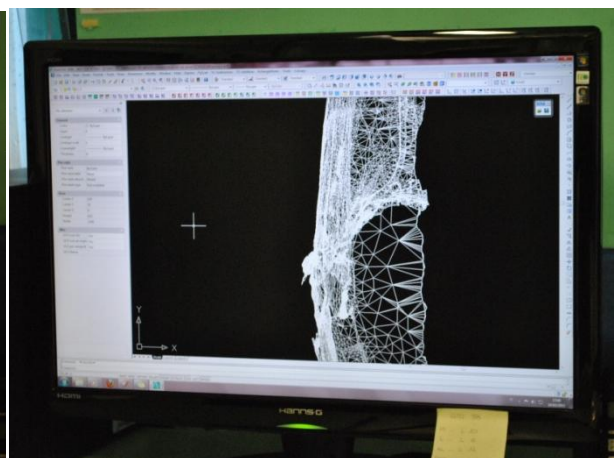
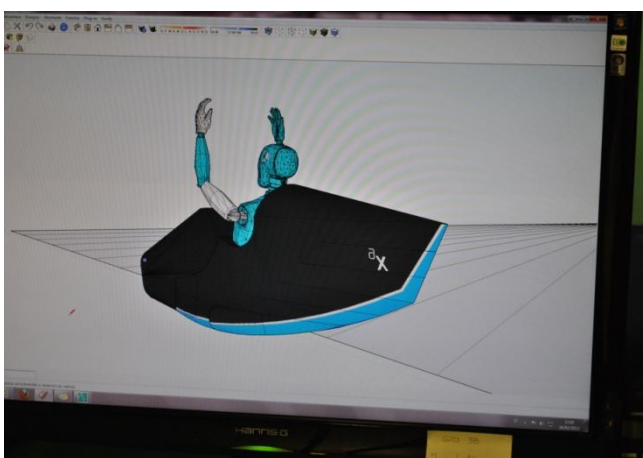


2012.2.24 Woody Valley 訪問



社長ののシモーネとは1年ぶりの再会

話は“X-rated6はどうなってるの”から始まった。X-apls と GTO が忙しすぎるのか？



PC 上に描かれた X-rated6 の開発は始まってはいた、、、空気抵抗となる皺までが解析されている

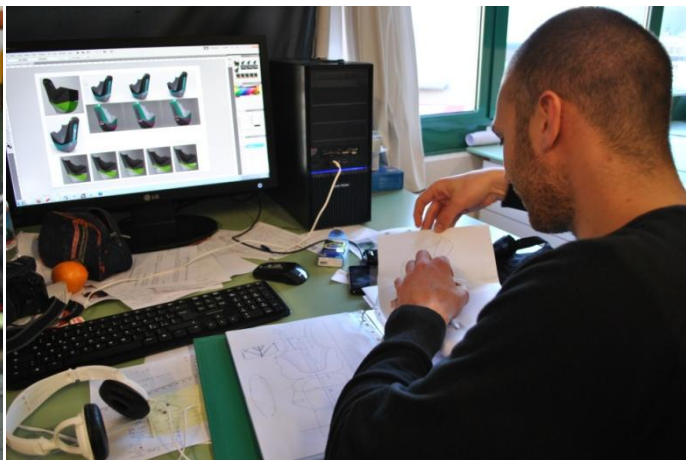
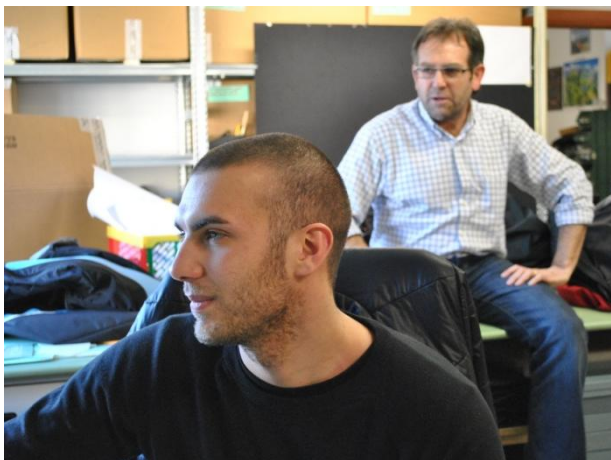


表面の皺をスキャンしてP C上で解析

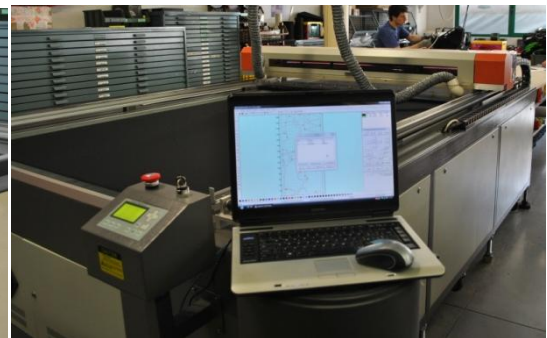
X-rated6の開発は予想どおり大幅に遅れていた、確かにX-alpsとその認定バージョンのGTOは好調で、特にGTOは軽量だけでなくX-ratedの後継といえるほどに性能的にも犠牲にする点がない。2月現在の時点でそのバックオーダーは380枚にもものぼり5月末までのウエイティングリストはすでに埋まっているという。（日本在庫は先行発注で確保してある！）

しかしながら来年に向けた開発は始まっていて、その開発はP C解析等の新技術によるもので時代をまた一歩リードするように思われる。

数々の先進技術と新システム、そして新しい若き工業デザイナーとは？

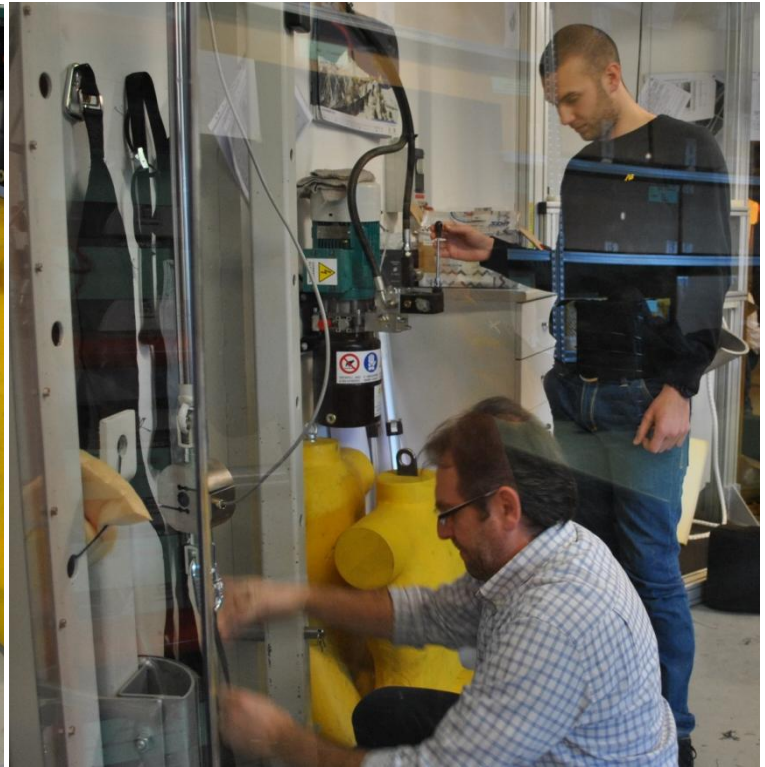


シモーネ自慢の新人デザイナーのマテウはミラノでも高名な工業大学の新卒社員

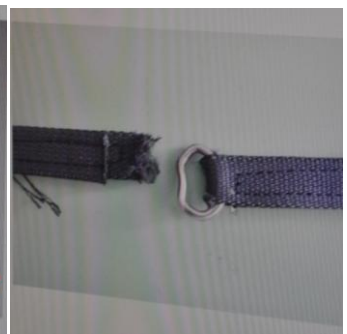


マテウの操るコンピューター制御のレーザーカットマシンも新設された





破断強度の測定機をセットするシモーネとマテウ



破断時の荷重が記された各サンプル、あらゆるパーツやウエビングがテストされてから採用される



破断時の荷重 1123Kg と記された素材、折り返しの縫代の長さによって素材の破断強度は変わる

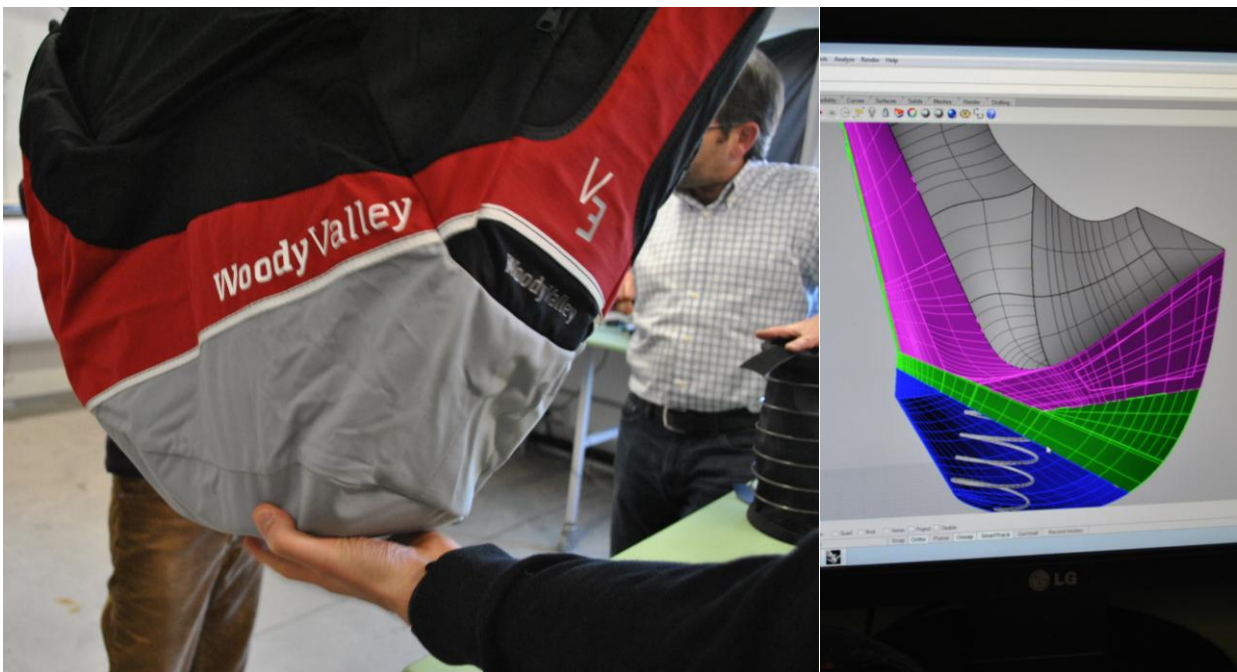


ショック荷重を測定するテストマシーン、右は先年採用されなかったエアフォーム・プロテクション

各種の新素材プロテクションのショック吸収性を自社でテストする事で、ネクストモデルへの採用を検討したり、認証テストに出す前に結果を予測できる利点もある。

写真（右の赤ハーネス）のエアフォームは昨年撮った物だが採用にいたらなかった。シモーネ社長の予測は荷重テストの結果ではなくフォルムの問題と聞いていたが、今年になって問題が解った製品モデルもあるようだ。空気式のエアーバッグとは異なり、ハーネスバッグに長時間詰められる事によるデフォルメ等の問題が生じているという。

Woody Valley では来年のモデルに採用する新システムのエアーバッグのアイデアがあり、すでに試作段階であった。（内容はトップシークレットのため残念ながらレポートできませんが）

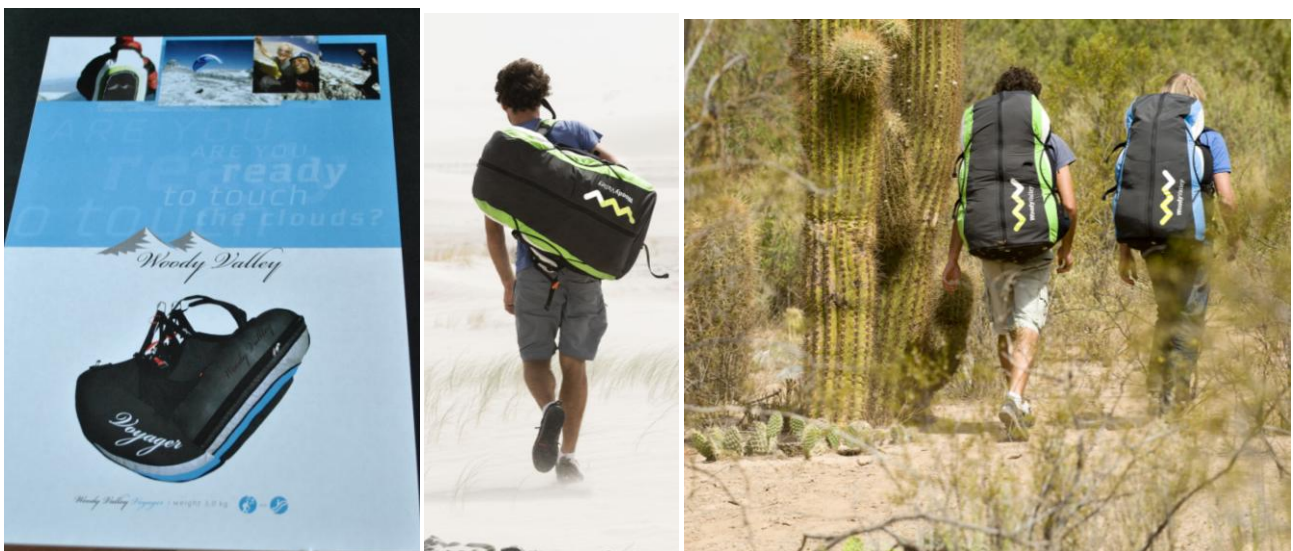


開発中の新システムエアープロテクション、中身の写真はまだ公表出来ない





PC上でデザインされる新システムプロテクション内蔵の数々のエアロフォルム

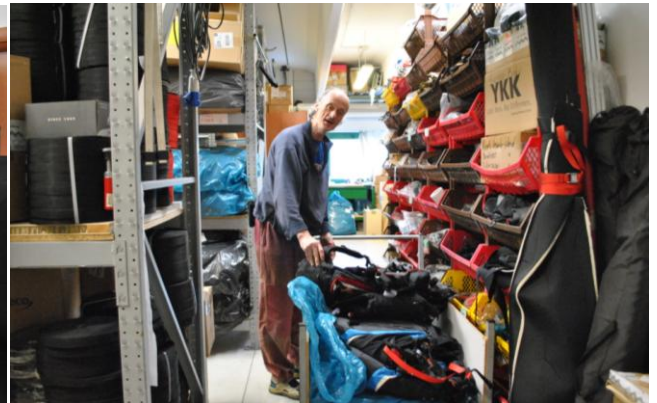


2012 ベストセラーとなった軽量リバーシブルの VOYAGER PLUS



X-Alps の認定バージョン GTO は人気沸騰で、2.18 現在バックオーダーが 380 枚にのぼる





(左)10年以上にわたり世界のトップに君臨し続けるハングライダー・ハーネスを担当するステファノ



締め括りはアットホームなスタッフ達とのディナー、トレント郊外の隠れ家的レストランにて